



最優秀賞：「若人頑張ってます」(南三陸町入谷)
藤島 純七さん(仙台市)

※「題名」(撮影地)
氏名(住所)の順

第3回

気仙沼・南三陸フォトコンテスト入賞作品決定!!

※4月21日(日)までリアス・アーク美術館にて入賞作品展開催中！

CONTENTS

- 気仙沼・南三陸フォトコンテスト入賞作品……………①
- 平成31年度組合一般会計予算……………③
- 人事行政の運営等の状況について……………④
- リアス・アーク美術館 平成31年度の催事紹介……………⑥
- 広域消防 平成30年消防統計……………⑧

「未来に残したい、私たちの今」

優秀賞

※「題名」(撮影地)
氏名(住所)の順

佳作

◆風景部門◆



「月光の神割崎」(神割崎)
小檜山 裕行さん(角田市)



「魚市場の朝」(魚市場)
村上 淳さん(気仙沼市)

◆暮らし・日常部門◆



「お散歩日和」(岩井崎)
藤原 栄一さん(埼玉県春日部市)



「夏の思い出」(歌津)
足利 義信さん(一関市)

気仙沼市・南三陸町で撮影された写真を対象とした、当組合主催のフォトコンテストの入賞作品が決定しました。今回は、五十人の方から「風景部門」に七十八点、「暮らし・日常部門」に三十八点、計一一六点の作品をご応募いただきました。

審査は、一月二十五日に気仙沼・本吉広域防災センターで行われ、審査委員長でプロカメラマンの斎藤秀一氏(斎藤秀一写真事務所・仙台市在住)より、「明るい写真や人物の写真が増えてきており、震災前の日常が戻りつつあるように感じた。応募作品全体を通してレベルが上がってきており、表現したいことが明快になってきている。」との総評をいただいております。



「早春のはれの日」(唐桑町宿浦漁港)
梶原 良さん(気仙沼市)



「海、青く」(田東山)
日野 俊文さん(七ヶ浜町)



「六地藏菩薩」(寶鏡寺)
熊谷 敏さん(気仙沼市)



「染まる気仙沼湾」(魚市場より)
菊田 清一さん(気仙沼市)



「入谷打囃子」(入谷)
木村 文武さん(多賀城市)



「カゼの開口」(本吉町二十一浜)
小野寺 洋樹さん(気仙沼市)

賞候補

※「題名」氏名
(住所)の順

「夜空に撒く力塩」(岩井崎)
佐々木 翔さん(盛岡市)



「紫の園」(赤坂公衆園)
鈴木 孝太郎さん(千葉県木更津市)



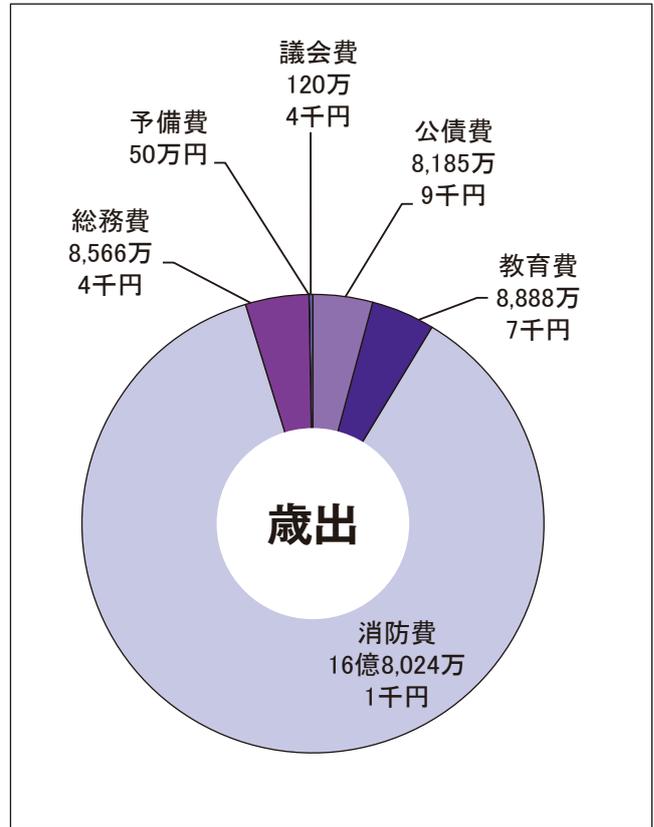
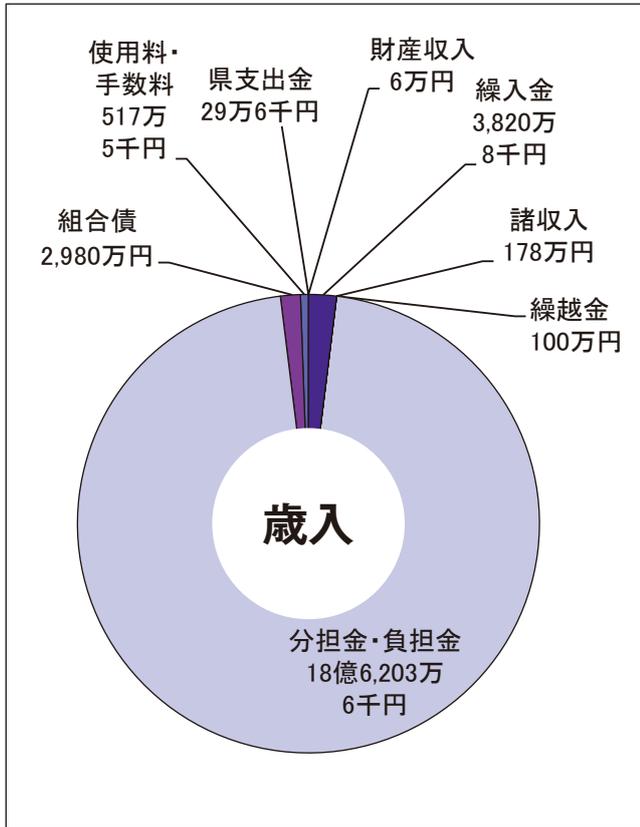
- ▽「気仙沼つばきマラソン」
鈴木栄一さん(気仙沼市)
- ▽「けあらしの神明崎」
大井憲一さん(気仙沼市)
- ▽「秋晴れの日」-村上淳さん(気仙沼市)
- ▽「うみねこもお祝いします」
梶原良さん(気仙沼市)
- ▽「ウミネコの目線」
藤原栄一さん(埼玉県春日部市)
- ▽「幸せな山道」-三浦明彦さん(登米市)
- ▽「夕焼けの三陸海岸」
小檜山裕行さん(角田市)
- ▽「記憶」-吉田安珠さん(仙台市)
- ▽「キヤー冷たい」-高橋太治さん(石巻市)
- ▽「5月のトンボ」-遠藤洋さん(気仙沼市)
- ▽「はまらいんや」-吉田真一さん(気仙沼市)
- ▽「復興への手筒花火」-藤島純七さん(仙台市)
- ▽「画竜点睛」-佐々木翔さん(盛岡市)
- ▽「黄昏時の鶴亀大橋」-佐々木翔さん(盛岡市)

平成31年度 予算の概要をお知らせします

総額

19億3,835万5千円

平成31年2月13日に開かれた第208回組合議会定例会において、『平成31年度一般会計予算』が原案のとおり承認されましたので、そのあらましについてお知らせします。



歳出の主な内容

<p>議会費 120万4千円 (0.06%) 組合議会運営費</p> 
<p>総務費 8,566万4千円 (4.42%) 一般事務費、計画策定費、 リアス・アーク美術館企画展等</p> 
<p>消防費 16億8,024万1千円 (86.68%) 防災・消防・救急活動費・施設管理費等</p> 
<p>教育費 8,888万7千円 (4.59%) リアス・アーク美術館施設管理費等</p> 
<p>公債費・予備費 8,235万9千円 (4.25%) 組合債の返済金等</p> 

平成31年度の主な事業

- 水槽付消防ポンプ自動車 I - A型取得 (南三陸消防署)
- 高規格救急自動車・高度救命処置用資機材取得 (古町出張所)
- 人員輸送車取得 (消防本部)
- 大島出張所耐震診断業務
- N.E.blood21 vol.70 ~ vol.73
- 子供たちが描いた平成
一みんなの展示会をつくろう展～
リアス・ジュニア絵画コンクール展

※()内は構成比

(3) 一般会計における特殊勤務手当

区 分		全職種
支給実績（平成29年度決算）		183万1,600円
手当の種類（手当数）		6種類
支給職員1人あたりの平均支給年額（平成29年度決算）		1万3,567円
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成29年度決算）		69.2%
内容	①高度救命処置手当 1回 1,000円	②救急業務手当 1回 100~200円
	③機関手当 1回 100円	④災害業務手当 1回 200円
	⑤救助業務手当 1回 200~500円	⑥救急艇出動手当 1回 200円

(4) 一般会計における時間外勤務手当

平成29年度	支 給 総 額	3,202万9,570円
	職員1人あたりの支給年額	17万6,959円
平成28年度	支 給 総 額	3,197万2,406円
	職員1人あたりの支給年額	17万4,713円

(5) 一般会計におけるその他の手当（平成30年4月1日現在）

区分	内 容
扶養手当	1 配偶者・父母等：6,500円、子：10,000円 2 その他の扶養親族：1人につき、6,500円 3 特定扶養（満16歳~22歳までの子）：1人につき、5,000円加算 ○国の制度との異同：国と同じ
住居手当	1 借家・借間に居住している職員：27,000円を限度に家賃に応じて支給 ○国の制度との異同：国と同じ
通勤手当	1 交通機関などの利用者：55,000円を限度に運賃に応じて支給 2 交通用具の利用者：使用距離に応じて、2,400円~32,700円を支給 ○国の制度との異同：1については、国と同じ 2については、国は2,000円~31,600円を支給

6. 特別職の報酬等

（平成30年4月1日現在）

職 名	区分	報酬額	職 名	区分	報酬額
管 理 者	年額	69,000円	教 育 委 員 会	教 育 長	年額 48,000円
副 管 理 者	年額	60,000円		委 員	日額
議 会	議 長	年額 56,000円	情 報 公 開 ・ 個 人 情 報 保 護 審 査 委 員 会	弁 護 士	日額 30,000円
	副 議 長	年額 48,000円		知 識 経 験 者	日額 7,400円
	議 員	年額 46,000円			
監 査 委 員	議 会 選 出 識 見 を 有 する 者	日額 7,400円	地 方 公 務 員 法 第 三 条 第 三 項 第 二 号 及 び 第 三 号 に 掲 げる 特 別 職 の 職 員	日 額	予 算 の 範 囲 内 で 任 命 権 者 が 定 め る 額
		日額 8,300円			

7. 職員の勤務条件、サービス、研修等の状況

(1) 勤務時間（一般職の標準的なもの）

勤務時間	始業時間	終業時間	休憩時間
1日7時間45分	午前8時30分	午後5時15分	午後0時から午後1時

(2) 休暇の種類など

種 類	内 容
年次有給休暇	年20日付与
病欠休暇	90日以内の必要な期間
特別休暇（主なもの）	結 婚 休 暇：連続する7日以内 忌 引 休 暇：配偶者10日、血族の父母7日など 夏 季 休 暇：7月~9月までの期間において3日以内 産 前・産 後 休 暇：産前8週間以内の申し出た期間、産後8週間 育 児 時 間 休 暇：1日1時間または1日2回、それぞれ30分
その他の休暇	介 護 休 暇：連続する6ヶ月の期間内

(3) 育児休業の状況（平成29年度）

区 分	男 性	女 性	計
取 得 者	0人	0人	0人

(4) 職員の分限及び懲戒の処分状況（平成29年度）

①分限処分

免 職	休 職	降 任	降 給	計
0人	0人	0人	0人	0人

②懲戒処分

免 職	停 職	減 給	戒 告	計
0人	0人	0人	0人	0人

(5) 職員のサービスの状況

職員のサービス規程は、次の条例などに規定し、公務員としての綱紀の保持に努めています。

- ①職員のサービスに関する規則
- ②職員の職務に専念する義務の特例に関する条例・規則

(6) 職員の研修と勤務成績の評定状況（平成29年度）

①職員研修の実施状況

区 分	受講者数(延べ数)	研 修 名 等 (人数)
宮城県消防学校	26人	・初任総合教育(3) ・中級幹部科(2) ・上級幹部科(1) ・火災調査科(2) ・予防査察科(2) ・特殊災害科(2) ・指揮隊長教育講習(1) ・救助隊長再教育講習(2) ・救急救命士再教育講習(2) ・救急救命士処置拡大講習(8) ・はしご自動車操作講習(1)
救急救命東京研修所	1人	・救急救命士養成(1)
そ の 他 (宮城県主催等)	267人	・人事評価研修(185) ・時事講演会(71) ・その他(11)
合 計	294人	

②勤務成績の評定の状況

職員がその職務を遂行するに当たり、発揮した能力及び挙げた業績を把握した上で行われる人事評価制度を導入し、これを任用、給与、分限その他の人事管理の基礎とするほか、職員の人材育成や組織全体の士気及び公務能率の向上を図る目的として活用します。

8. 職員の健康管理及び公務災害補償制度の状況（平成29年度）

(1) 健康診断の状況

区 分	受診者数(延べ数)	内 容 等 (人数)
総合健康診断	214人	・人間ドック(31) ・脳ドック(6) ・各種がん検診(177)
定期総合診断	345人	・法定健康診断等 春季(196) 秋季(149)

(2) 公務災害の認定状況

加 入 団 体	認定件数
地方公務員災害補償基金 宮城県支部	3件

9. 公平委員会の状況（平成29年度）

県人事委員会より報告を受けた公平委員会の業務の状況

- ①勤務条件に関する措置要求：該当なし
- ②不利益処分に関する不服申立：該当なし

気仙沼・本吉地域広域行政事務組合 人事行政の運営等の状況について

組合職員の任免、給与、勤務条件などの公平性及び透明性確保のため、地方公務員法及び組合条例の定めにより、人事行政の運営等の状況について公表します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況(特別職を除く)

(1) 職員数の状況

区分	H29.4.1現在 職員数 (うち再任用者数)	H29.4.2~H30.4.1			H30.4.1現在 職員数 (うち再任用者数)
		退職者数	再任用者数増減	新規採用者数	
一般職	12(0)人	0人	0人	0人	12(0)人
消防職	182(0)人	2人	0人	3人	183(0)人
合計	194(0)人	2人	0人	3人	195(0)人

(2) 部門別職員数の状況

区分 部門	職員数		対前年 増減数	主な増減理由
	平成30年度	平成29年度		
一般行政 部門	事務局	7人	7人	0人
	美術館	5人	5人	0人
消防部門	消防	183人	182人	1人 新規採用者3人、退職者2人
合計	195人	194人	1人	

※組合定数条例で職員の定数は211人となっている。

(3) 年齢別職員構成の状況 (平成30年4月1日現在)

区分	20歳 未満	20~ 23歳	24~ 27歳	28~ 31歳	32~ 35歳	36~ 39歳	40~ 43歳	44~ 47歳	48~ 51歳	52~ 55歳	56~ 59歳	60歳 以上	計
職員数 (人)	2	27	41	27	16	18	31	15	3	8	7	0	195
構成比 (%)	1.0	13.8	21.0	13.8	8.2	9.2	15.9	7.7	1.5	4.1	3.6	0.0	100

2. 人件費の状況(一般会計決算)

区分	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費比率 (B/A)	(参考) H28年度の 人件費比率
平成29年度	21億6,263万円	1,762万円	13億9,646万円	64.6%	64.0%

3. 職員給与の状況

(1) 職員給与費の状況(一般会計の当初予算)

区分	職員数 (A)	給与費				1人あたり 給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 (B)	
平成30年度	196人	6億6,025万円	1億9,477万円	2億5,703万円	11億1,205万円	567万円

※1 職員手当には退職手当を含みません。
※2 特別職に支給される報酬は含みません。

(2) 職員の平均給料月額、平均給与月額及び平均年齢の状況 (平成30年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
一般行政職	314,525円	353,598円	41.4歳
消防職	276,842円	340,450円	33.9歳
宮城県(一般行政職)	320,093円	405,493円	42.2歳
国(一般行政職)	329,845円	410,940円	43.5歳

※平均給与月額は平均給料月額に扶養手当、通勤手当、住居手当などの手当を加えたものです。

(3) 職員の初任給の状況 (平成30年4月1日現在)

区分	初任給	区分	初任給
一般行政職	大学卒 179,200円	宮城県 (一般行政職)	大学卒 187,100円
	高校卒 147,100円		高校卒 152,600円
消防職	大学卒 205,200円	国 (一般行政職)	大学卒 179,200円
	高校卒 166,000円		高校卒 147,100円

4. 職員数等の状況

(1) 一般行政職の級別職員数の状況(平成30年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	主事	主事	係長 主任	主幹	副館長	事務局次長	事務局長	
職員数	1人	1人	4人	3人	1人	1人	1人	12人
構成比	8.3%	8.3%	33.3%	25.0%	8.3%	8.3%	8.3%	100%

(2) 消防職の級別職員数の状況 (平成30年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	合計
標準的な職務内容	消防士	消防士長	主任 消防士長	係長 所長補佐	出張所長 課長補佐 当直司令 主幹	署長 副署長 分署長 指揮隊長	消防長 参事	
職員数	63人	43人	18人	25人	21人	11人	2人	183人
構成比	34.4%	23.5%	9.8%	13.7%	11.5%	6.0%	1.1%	100%

5. 職員手当の状況

(1) 期末手当・勤勉手当支給割合 (平成30年4月1日現在)

区分	手当の内容				
	区分	6月期	12月期	年計	増減(対前年度)
期末手当 勤勉手当	期末手当	1.225月分	1.375月分	2.600月分	
	勤勉手当	0.900月分	0.900月分	1.800月分	0.100月分
	計	2.125月分	2.275月分	4.400月分	0.100月分
職制上の段階、職務の級等による加算措置：5%~15%					

(2) 退職手当支給率 (平成30年4月1日現在)

区分	手当の内容				
	区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
退職手当	自己都合	19.6695月分	28.0395月分	39.7575月分	47.7090月分
	勤奨・定年	24.586875月分	33.27075月分	47.7090月分	47.7090月分
1. その他の加算措置：定年前早期退職特例措置(2~20%加算) 2. 1人あたり平均支給額：813千円(平成29年度中途退職者の平均) ※定年退職者なし					

【食と地域の暮らし展 vol.6】

山と生きる

～山のある暮らし～

4月30日(水)～4月21日(日)

地域の「食」と人々の生活文化を紹介するシリーズ企画「食と地域の暮らし」展。第6回目として当地域における「山」の生活文化を紹介します。海と山が隣接する当地域では古くから山の資源を用いた生活が営まれてきました。畑の作物、野生の動植物といった食物や薪・炭などの燃料、生活道具の材料を山から得ました。それは浜の人々も同様で、漁船や多くの道具に山の木を用いるなど、漁業は山によって支えられていたと言えます。人々と山との関係性は昭和中期頃から急激に変化し、現在では日常生活の中で「山」が意識される機会は少なくなっています。



【養蚕業】
桑の葉を食べる蚕の幼虫と繭



↑ ご飯に入れる
大根を細かく切る道具
【食文化】
ジャガイモから
↓ デンプンを取る道具

【観覧無料】



【狩猟】
かつて気仙沼八瀬地区で腕を
振った猟師と仕留めた熊

本展では、当地域の山手側の生活にスポットを当て、そこで営まれる産業や食文化、信仰などを実際の道具や写真で紹介します。かつての「山のある暮らし」を見つめ直し、海と山と人との関係を総合的に再考してみます。

—開館時間—
午前9時30分～午後5時
※最終入館は午後4時30分まで

—休館日—
毎週月・火曜日、祝日の翌日
年末年始・メンテナンス休館

—常設展観覧料—
一般：500 (400) 円
大学生・専門学生：400 (300) 円
高校生：300 (200) 円
小・中学生：150 (100) 円
※() は20名以上の団体料金

—所在・連絡先—
〒988-0171 気仙沼市赤岩牧沢 138-5
TEL：0226-24-1611
FAX：0226-24-1448
Email：riasark.m@nifty.com
http://www.riasark.com

※展覧会の会期等は都合により変更となる場合があります。ご利用の際は事前にチラシやホームページ等にてご確認ください。

子供たちが

描いた平成展

7月6日(土)～8月25日(日)

当館で開館以来19回に渡って開催してきた圏域の子供達を対象とした公募展「みんなの展覧会をつくろう」展。そしてその後継企画「リアス・ジュニア絵画コンクール」。

本展ではこれら公募展の入賞絵画作品約100点を展示し、子供たちの視線を通して描かれた人々の暮らしや地域の様子、雰囲気などを辿り、平成という時代を振り返ります。

N.E.blood 21

vol.70 . 71 . 72 . 73

本展は平成14年度から続く、東北・北海道在住の若手作家を紹介するシリーズ企画です。平成31年度は、第

70～73弾目となる4名の作家を2期に分けて紹介します。【観覧無料】
N.E. || North Eastern (東北・北海道地域)
blood || 血筋 活力、気質、情熱
21 || 21世紀・未来をつくる

2019年5月3日(金)～6月16日(日)



「devil」
333×530mm
／キャンバスに
油彩／2012年
／馬渡裕子

2020年2月8日(土)～3月15日(日)



「mobil—オシラサマー」

852×1820×32mm／キャンバス・アクリルパネル／2012年／尾崎森平



好評企画第4弾！ リアス・ジュニア

絵画コンクール vol.4

本企画は気仙沼市・南三陸町の小学生を対象とした絵画公募展です。テーマは「あんなこと、こんなことしたよ」。入賞者には地域商品券(大賞Ⅱ2万円分、優秀賞Ⅱ5千円分)や図書カード(佳作Ⅱ千円分)が贈られます。8月下旬より学校を通じて作品募集を開始する予定です。小学生のみなさん！奮って応募ください！
※展覧会期は12月4日(水)～12月22日(日)です。
◎応募・観覧ともに無料

人気企画今年もやります!!

新！方舟祭2019

9月26日(木)～11月3日(日)

方舟祭(はこぶねさい)は当館主催の市民参加型文化祭です。表現活動を行っている方々の絵画・写真・手工芸等の展示を始め、楽器演奏会などの多彩な発表を週替わりで紹介いたします。6月初旬に参加募集の受付を開始する予定です。初めてのの方も大歓迎！どうぞお気軽にご参加・ご来場ください。

◎応募・観覧無料

常設展

共通チケットで①②③をご覧ください
ただけです。

①歴史・民俗資料展示

「方舟日記」海と山を生きるリアスな暮らし
当地域の歴史民俗・生活文化を「食」をキーワードにひも解き、手描きイラストや写真を添えて紹介しています。



身近なイベント、年中行事などのルーツや豆知識を紹介するミニ展示「方舟漂流記」。今期は「時間」をテーマとして展示します。

②収蔵美術作品展

当館と関わりのある東北・北海道を中心とした美術家の作品約70点を作家紹介とともに展示しています。

③東日本大震災の記録と津波の災害

当館学芸員らが取材した記録写真と収集した被災物品に解説を添え、明治29年・昭和8年の津波災害史の資料等とともに展示しています。津波と地域文化の関係、海とともに生きる地域の未来を考えます。

貸ギャラリーのお知らせ

あなたの作品も展示してみませんか？

当館では絵画や写真などを展示発表する会場をお貸しする「貸ギャラリー」事業を行っています。作品だけでなく小規模なパフォーマンス発表や講演会を行うステージ会場もありますので、是非ご利用ください。

規則もありますので詳細は貸ギャラリー係へお問い合わせください。



実際の展示の様子
(エントランスホール)
H30年8月
方舟祭2018(気仙沼)
ストリングオーケストラ
弦楽奏発表の様子

主な展示会場区分と詳細

概要	会場
展示可能幅域=約24m (エントランスホール含) 料金=1,000円/1日あたり ●提出物=企画書/施設使用許可申請書	コモンホール
座席数=87席 投影幕あり(PC出力からの接続が可能です) マイク使用可 ●料金=5,100円/1日あたり (準備を含めて5時間以上の利用で)●提出物=企画書/施設使用許可申請書	ハイビジョンギャラリー

ワークショップからのお知らせ

夏休み!

親子クラフト教室

親子でものづくりの楽しさを味わうクラフト教室を夏休み期間に開講します。詳細は学校へ配布するチラシや7月頃の当館HPの記事をご覧ください。

【参加無料・定員8組・要事前申込】

「アスラゼミ」開講!

4月から翌年3月(毎月第2・4日曜日)までの通年ゼミです。絵画を基礎から学び、油彩画を制作します。参加は無料。高校生以上が対象です。詳細についてお気軽にご相談ください。

共催展覧会(予定)

- 第57回けいせい展/9月11～16日
- 気仙沼市立小中学校校工美術作品展・ユネスコ世界児童画展/11月8～10日
- 第14回気仙沼市立小中学校児童生徒書きぞめ展/2020年1月末
- 第37回気仙沼支援学校児童生徒作品展/2020年1月末



広域消防

平成30年消防統計



広域消防女性活躍推進オリジナルキャラクター
(左)かなえちゃん (右)みなみちゃん

平成30年の火災について

昭和60年以来的 「火災による死者ゼロ」達成

当広域管内における平成30年の火災件数は23件(前年比2件減)で、昭和47年の広域消防発足以来2番目に少ない件数となりました。

火災種別は、建物火災が8件(前年比6件減)、林野火災が1件(前年同)、車両火災が2件(前年比1件増)、その他火災が12件(前年比3件増)となっています。出火原因別で見ると、最も多いのが「溶接機・溶断機」と「たき火・ゴミ焼き」でそれぞれ2件となっています。

火災が発生した時間帯は、午前6時から午後6時までに23件中18件発生しており、夜間よりも昼間に多くの火災が発生しています。

火災による負傷者は6人(前年比2人減)となっており、死者は0人(前年比1人減)で、当広域では昭和60年以來33年ぶりとなる「火災による死者ゼロ」を達成することができました。

火災から命を守るために

総務省消防庁にて、平成27年から平成29年までの3年間に発生した住宅火災(放火・放火の疑いを除く)における住宅用火災警報器(以下、住警器)の設置効果を分析したところ、設置していない住宅100件あたりの死者の割合が11・

4人なのに対し、設置している住宅100件あたりの死者の割合は6・5人となっており、死者が4割以上減少しました。

火災から命を守るため、寝室や台所などへ住警器を設置しましょう。

また、すでに設置してある住警器についても点検などの維持・管理を徹底し、設置から10年を目安に新しい物に取り換えましょう。

昨年引き続き、ともに「火災による死者ゼロ」を目指しましょう！



©スタジオ大黒天 ©マツキタツヤ・宇佐崎しろ / 集英社

山火事の防止について

これからの季節は、空気が乾燥し風が強くなり、ちょっとした不注意から林野火災が発生しやすい時期を迎えます。

林野火災は、皆さん一人ひとりの注意で防ぐことができます。命や財産を守るため、屋外における火の取扱いは十分気をつけましょう。

平成30年の救急について

昨年の救急出動は、3587件で、3052人が搬送されました。これは、一日平均9・8回救急車が出動し、圏域住民の24人に1人が救急車を利用したことになります。これらを前年と比較すると、出動件数で65件、搬送人員で45人の増加となっています。

事故種別では急病が全体の約68%、年齢別では65歳以上の高齢者が約69%を占めています。

また、傷病程度別では入院加療が必要な中等症が約45%と最も多く、次に入院加療を必要としない軽症が約37%を占めています。

救急電話相談 ご活用ください

宮城県は、夜間・休日の急な病気やけがで、救急車を呼ぶべきか迷うときや、応急処置の方法が知りたいとき、相談ダイヤルを開設しています。

看護師等が、受診の必要性や医療機関を案内しますので、ご利用ください。

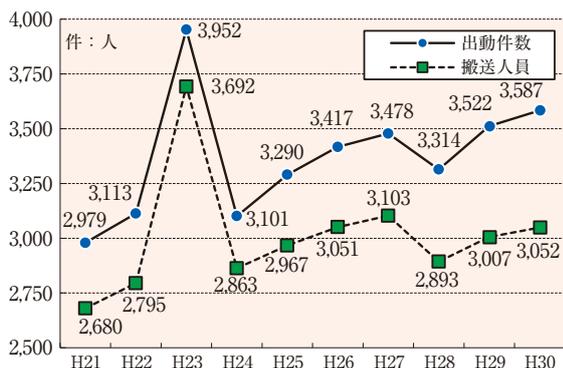
◆おとな救急相談 #7119

◆こども夜間安心コール#8000
平日 19時～翌8時
土曜 14時～翌8時
日曜・祝日 24時間
毎日 19時～翌8時

真に救急を要する方のため
救急車の適正な利用をお願いします



過去10年間の救急出動の推移



事故種別 救急活動状況

